

柏の葉地域における多主体連携に向けた ワークショップとその成果

みちのプロジェクト

東京大学大学院
矢原有理
石田拓己
柏原沙織
入山健



背景 一大きな変化を迎える柏の葉一



東京大学

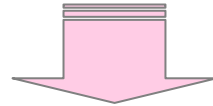
東京大学

千葉大学

TX柏の葉キャンパス駅

- ・人口約9千人→計画人口約2万6千人の開発
- ・産学官民連携構想と住民側との連携

住民の活力をつなげる必要性



学生有志組織であるみちのプロジェクト

ワークショップを通じて柏の葉地域の人たち
をつなげ、**まちづくり組織の立ち上げ**へ

1. 活動拠点：多主体の接点であるみち

対象敷地

千葉大構内

大学

×

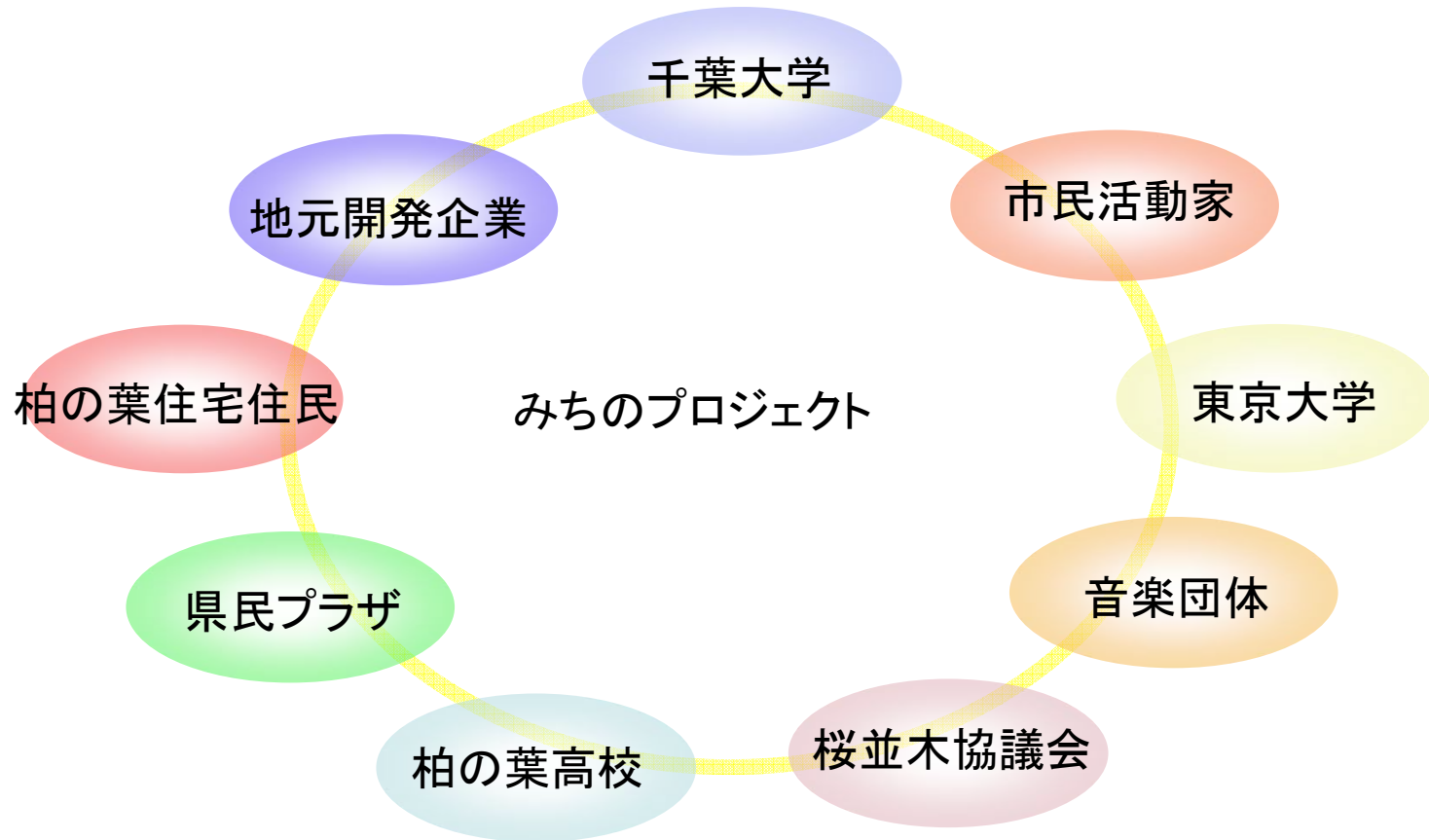
高校

×

住宅



2. 参加者：高校生から企業まで



3. 連携づくりの過程： 段階を踏んだWS

1. 学生によるワークショップの企画・開催



意識向上



交流促進



みちのデザイン



夜間利用提案

機運を高める

実践へ

2. イベント運営会議の開催



多主体の意見交換の場



3. イベントの開催



役割分担、連携の強化

活動の成果 — 地域課題の顕在化と解決へ —

千葉大→東大

留学生ロッジ配置計画の変更



高校×千葉大

みちの開門時間延長

8時半～17時 → 7時～19時に！
高校生の通学時間に合わせて

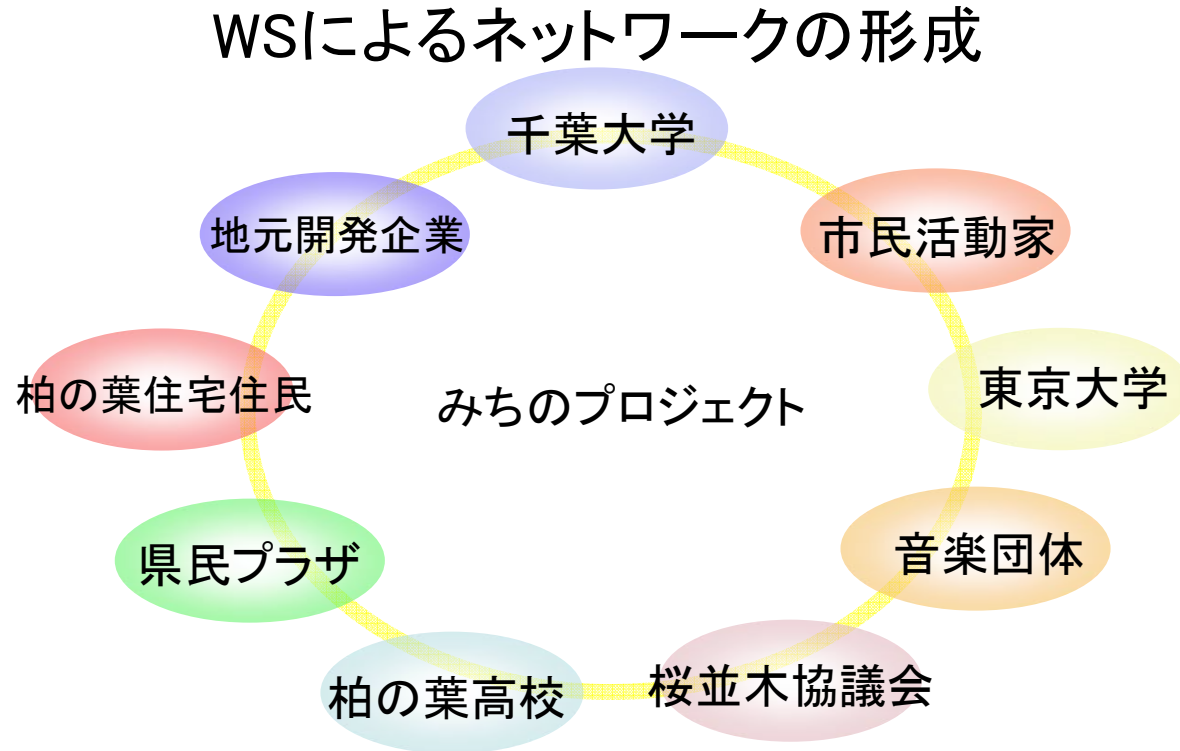


住民→行政

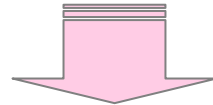
みちと関連して高校南側の
通路整備についての働きかけ

桜並木協議会×千葉大
桜並木計画とキャンパス
計画との連動

今後の展望 ―まちづくり組織立ち上げへー



「みちのプロジェクト」(学生の機動力に依存)



地域の「まちづくりサークル」

住民、新規住民、高校生、学生らが、地域力や地域知を共有する場

Fin.

ご清聴ありがとうございました！